

身近な所からいじめをなくす

海田町立海田西中学校 兼山 友花

未だになくならない、いじめ問題。テレビや新聞などでもいじめの報道を耳にすることが少なくありません。また、その報道の中には耳をふさぎたくないようなひどい内容のいじめもあります。

しかし、これは他人事ではありません。私たちもいじめ問題を取り扱った道徳の授業などを何度か受けてきました。そのような授業をする中で、私は気づいたことがあります。それは、自分がいじめだと思っていなくても、ちょっとした一言で相手を傷つけているということです。これは、誰でも起こりうることではないでしょうか。「それはいじめと言うのだろうか」と疑問に思う人もいます。

しかし、そのちょっとした一言が積もることによって、相手が追いつめられてしまい、気付かぬ間にいじめが発生しているのだと私は思います。

いじめは人間として絶対に許されないことであり、いじめられた人の心や体、いのちに大きな傷を負わせるものです。私たち生徒全員が安心して学校生活を送り、自分の「夢の実現」に向かって、いろいろなことに一生懸命取り組むことができる学校でなくてはなりません。誰かが他の人に言ったことや、行ったことでつらい思いをしたり、傷つけられたりする、そんな学校ではいけません。

そこで、私たち海田西中学校生徒会では生徒一人ひとりが気づき、考え、実行できるように、「いじめゼロ宣言」を行っています。

この宣言は平成二十五年に海田西中学校で始まり、先輩方から受け継いできたものです。それを海田町の小中学校六校全てに広めていきたいと考えました。もともとあった宣言文を小学生でもわかりやすい文に直して、去年の海田町こども議会で提案し、全会一致で可決されました。

いじめゼロ宣言の内容は次の通りです。

- 一 わたしたちは、いじめをしません。いじめを許しません。
- 二 わたしたちは、互いの性格や自分と違うところを認め合い、思いやりの心をもって、人と関わっていきます。
- 三 海田町の児童生徒全員が、夢を持ち、夢の実現に向けて安心して学校生活を送ることができるような学校をつくります。
- 四 いじめを見たり、聞いたりしたら、いじめを受けた人の気持ちを考え、解決できるよう行動します。

この宣言に同意し、生徒全員が署名をして、日頃から「いじめゼロ」に向けて行動しています。他にも、生徒会を中心に様々な取組を行っています。学級委員会の提案で、いじめをなくすために自分はどう行動していくか一人ひとりが考え、カードに「行動宣言」を書きました。図書委員会では、いじめに関する本の読み聞かせを行いました。このように、いじめについて一人ひとりが考える機会を設けています。

こうした活動を私たち自身がすることによって、いじめを起こさない環境づくりができていくのだ

と思います。私も、生徒会執行部の一員として、この活動が続けていき、小さいいじめも大きいいじめもなくしていきたいです。相手の心を傷つけるような小さいいじめも、ニュースや新聞などで報道される大きいいじめも、相手を傷つけていることには変わりありません。だから、いじめがなくなるように、まずは無関心であることをやめ、一人ひとりがいじめについてどうすればよいかの考えを持っていることが大切なのだと思います。